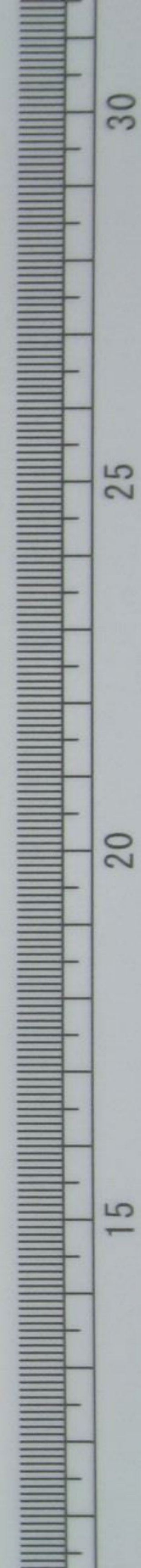




新嘉坡
 一寸口切
 山東省博
 歌川書院藏

~~D~~
 1047
~~2~~

逍遙文庫
 文庫 6
 959



△山△

朝茶湯あさぢやうの寸口切すんぐちぎり

山東京傳作歌川豊國画

今昔いませき山町譚やまぢやうだん

橋本徳瓶作歌川豊國画

却說さてもそのし浮世之助話よのせりのまかひ

式亭三馬作歌川國貞画

松縁まつのへり高砂話たかさごのわらわ

尉輔作歌川國貞画

先讀まづよんでみ三國小女郎さんこくおんな

山東京山作歌川國貞画

戀女房こひめむら雙言討ふたごころ双六ふたごころ

尉輔作歌川國長画

昔語むかしご丹前風呂たんぜんふろ

式亭三馬作歌川國直画

一對男時花歌川いつぱいおとときはなうたがわ

式亭三馬作

天竺てんぢく徳兵衛物語とくべゐものがたり

山東京傳作歌川豊國画

前編歌川豊國画
後編歌川豊廣画

團七だんしち黒茶梳くろぢやう

釣船之花入つりぶねのはないり

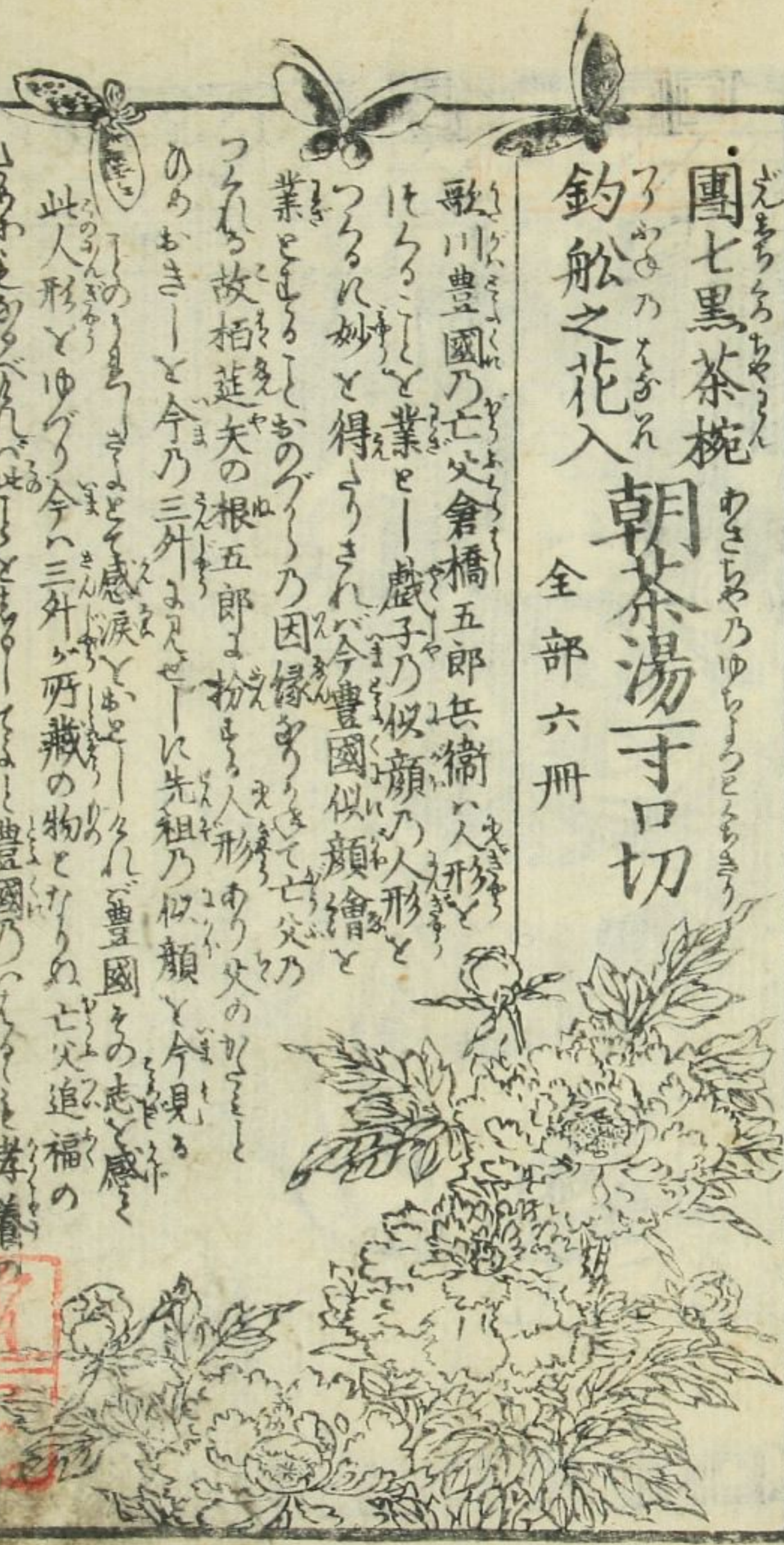
朝茶湯寸口切あさぢやうすんぐちぎり

全部六冊

歌川豊國乃亡父倉橋五郎兵衛うたがわゆんこく乃亡父倉橋五郎兵衛人形にんぎやうと
けらるゝ業わざと一いっ戯子げし乃似顔にがはな人形にんぎやうと
つるら妙たぎと得えりまま今いま豊國ゆんこく似顔にがはな繪ゑと
業わざと今いま乃の三升さんじやう乃の因縁いんゑん乃の亡父おやぢ乃の
つるら故栢こ筵しん夫おとこの根ね五郎ごらう乃の扮はんも人形にんぎやうあり父ちちの如ごとし
のめおきおきと今いま乃の三升さんじやう乃の先祖せんぞ乃の似顔にがはなと今いま見みる
此こゝ人形にんぎやうとゆゆぐり今いま三升さんじやう乃の所藏しよざうの物ものと亡父おやぢ追福おひつくとくの
一端いっぺん乃の趣向しゆかうのめはとなな

文化九年発行

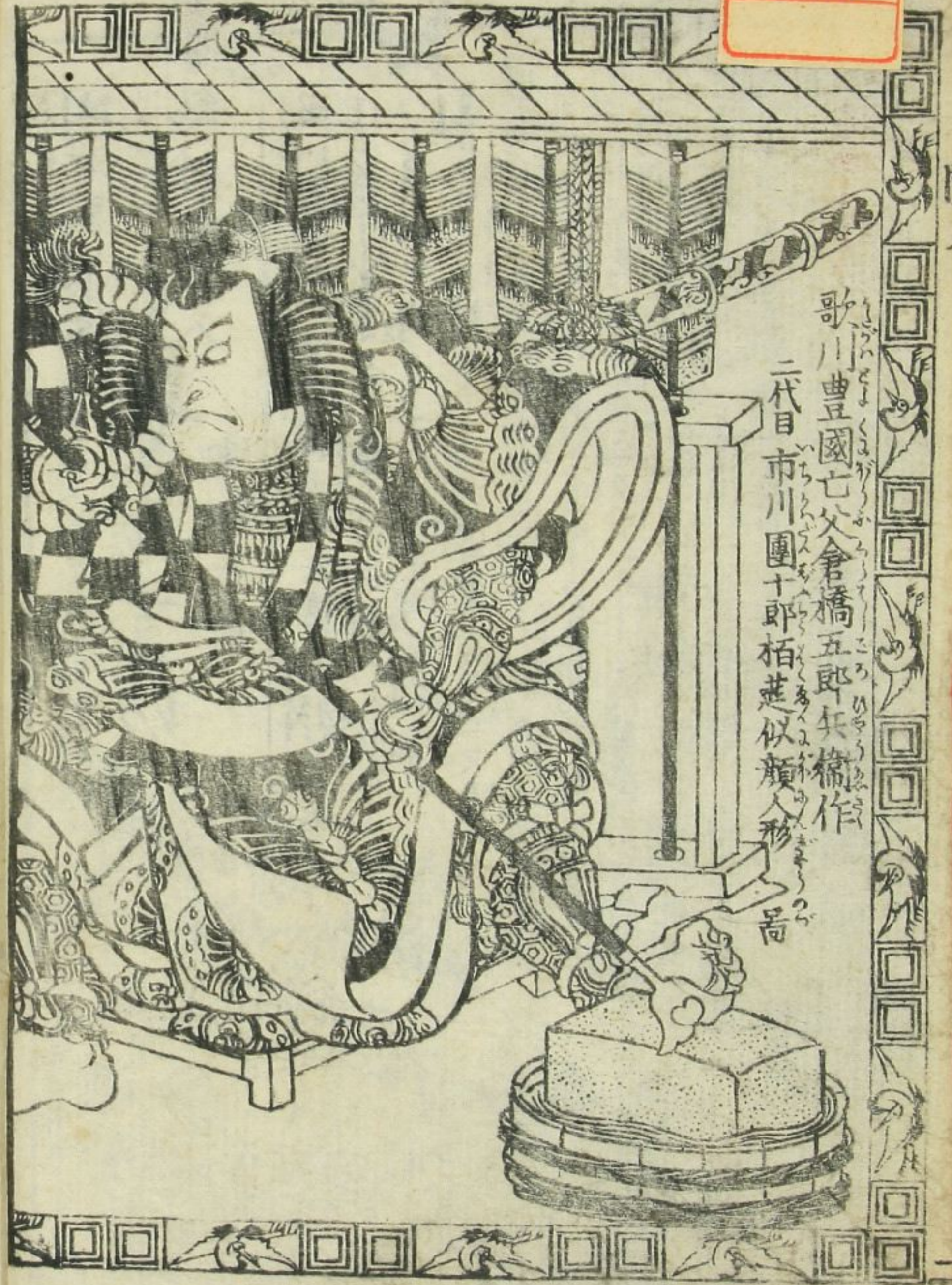
山東京傳述



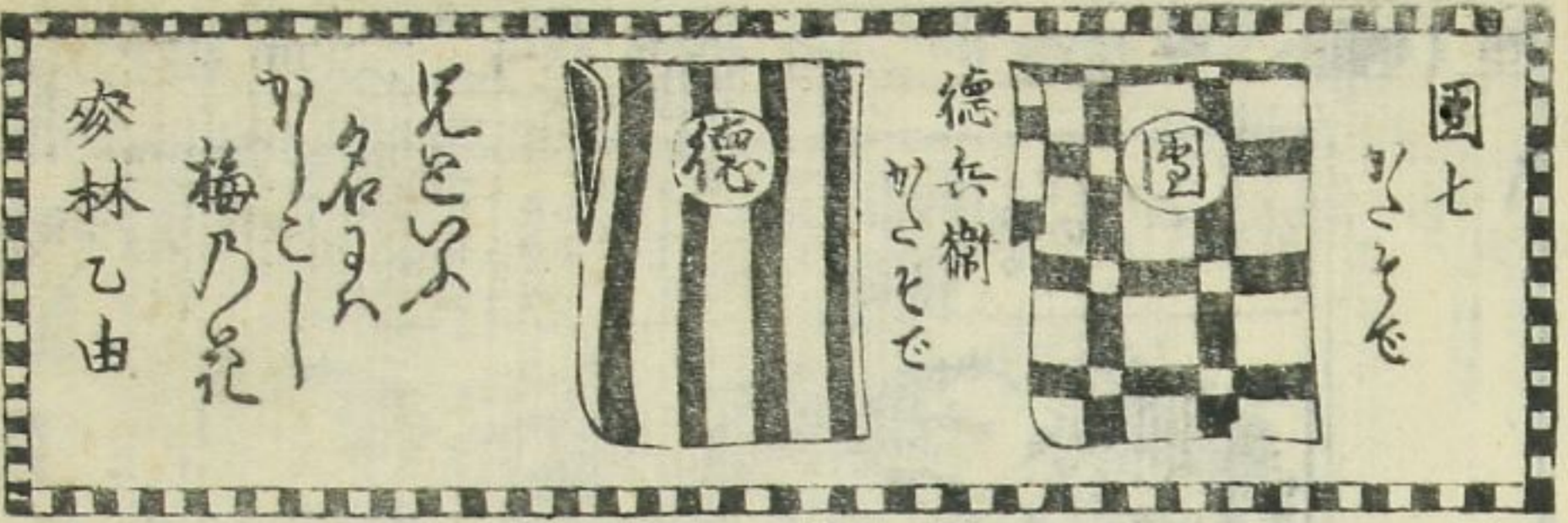


白梅小黒豹いさむ野抱ふ
 白梅小黒豹いさむ野抱ふ
 白梅小黒豹いさむ野抱ふ

故 栢 莚 同



歌川豊國亡父倉橋五郎兵衛作
 二代目市川團十郎栢莚似顔人形
 高



夏祭ばん附

一冊の
固とるあ
のたん
二冊の
固とるあ
三冊の
固とるあ
四冊の
固とるあ
五冊の
固とるあ
六冊の
固とるあ
七冊の
固とるあ
八冊の
固とるあ
九冊の
固とるあ
十冊の
固とるあ



番附と賣も
祭のまじり
右其角
白



浪花津色紙村の
團七黒平



大鳥
嵯峨
右衛門



娘
つひ

物
代
つ
ま
七

八
つ
ま

物
古
馬



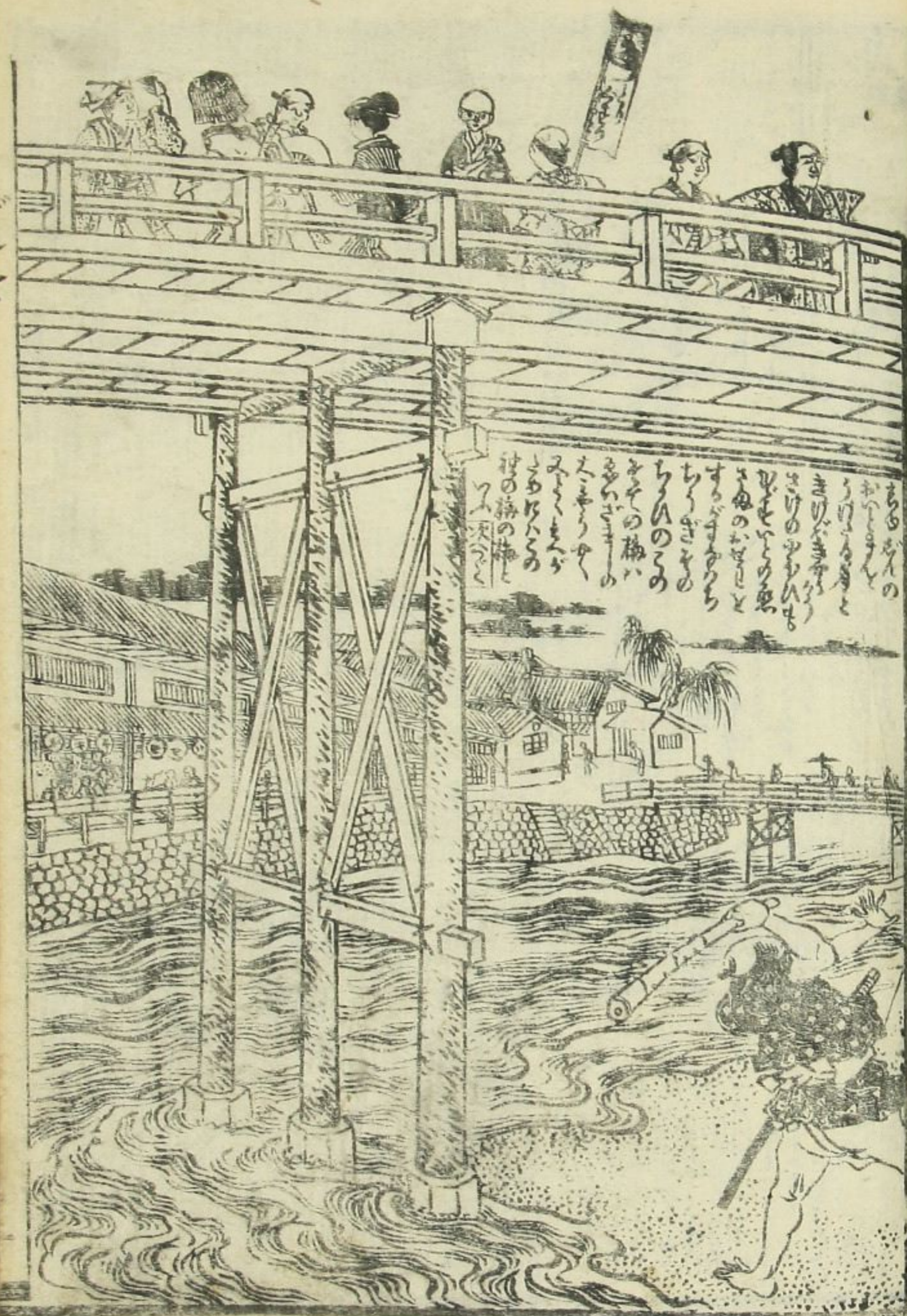
家
臣
大
鳥
嶮
城
右
兵
衛
門
の
御
前
に
参
上
す
御
座
に
参
上
す

○泉の岡 蟹田の判官の
家臣 大鳥嶮城 右兵衛門
○掛列 神崎の
琴浦

御
座

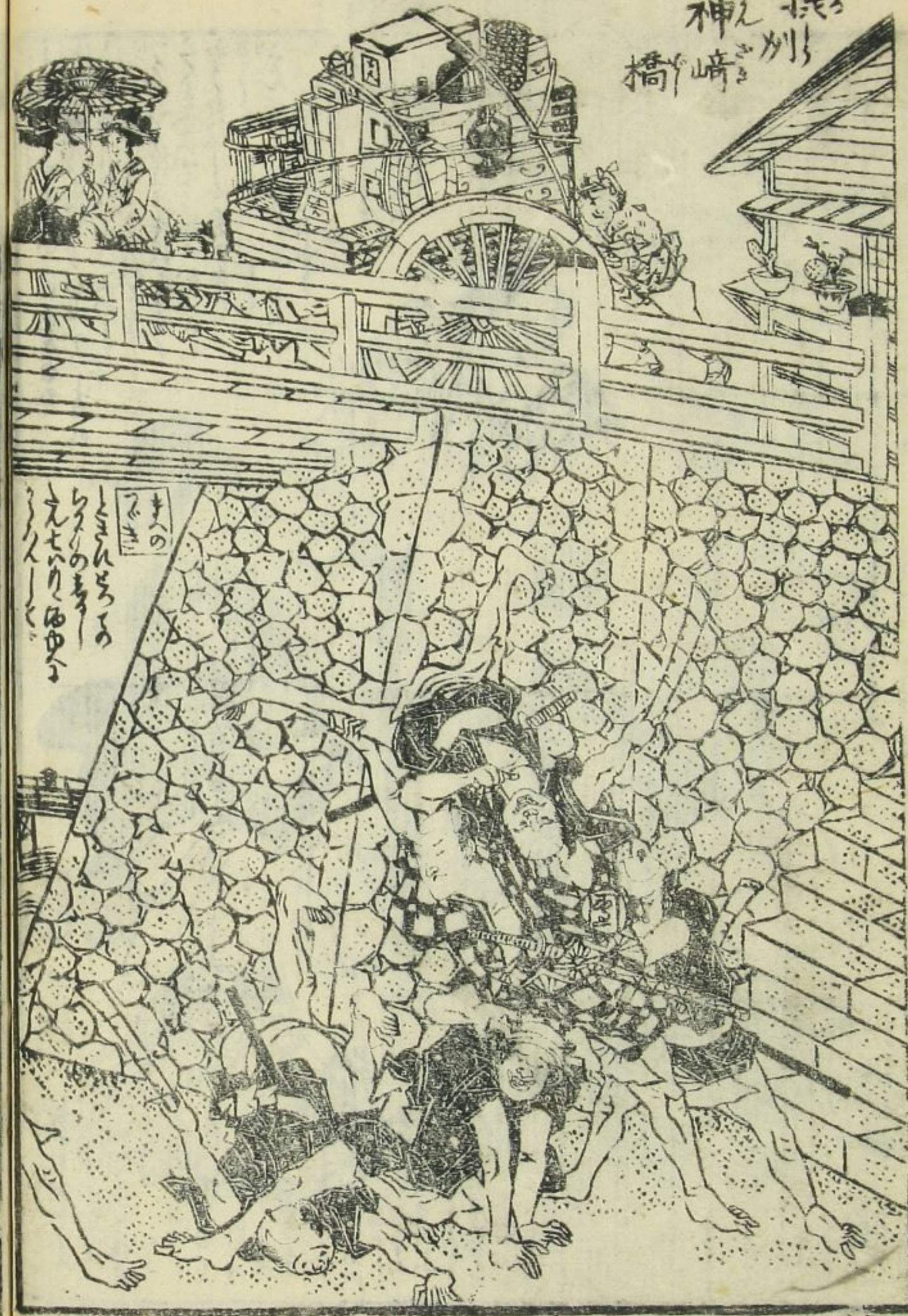
前編中冊





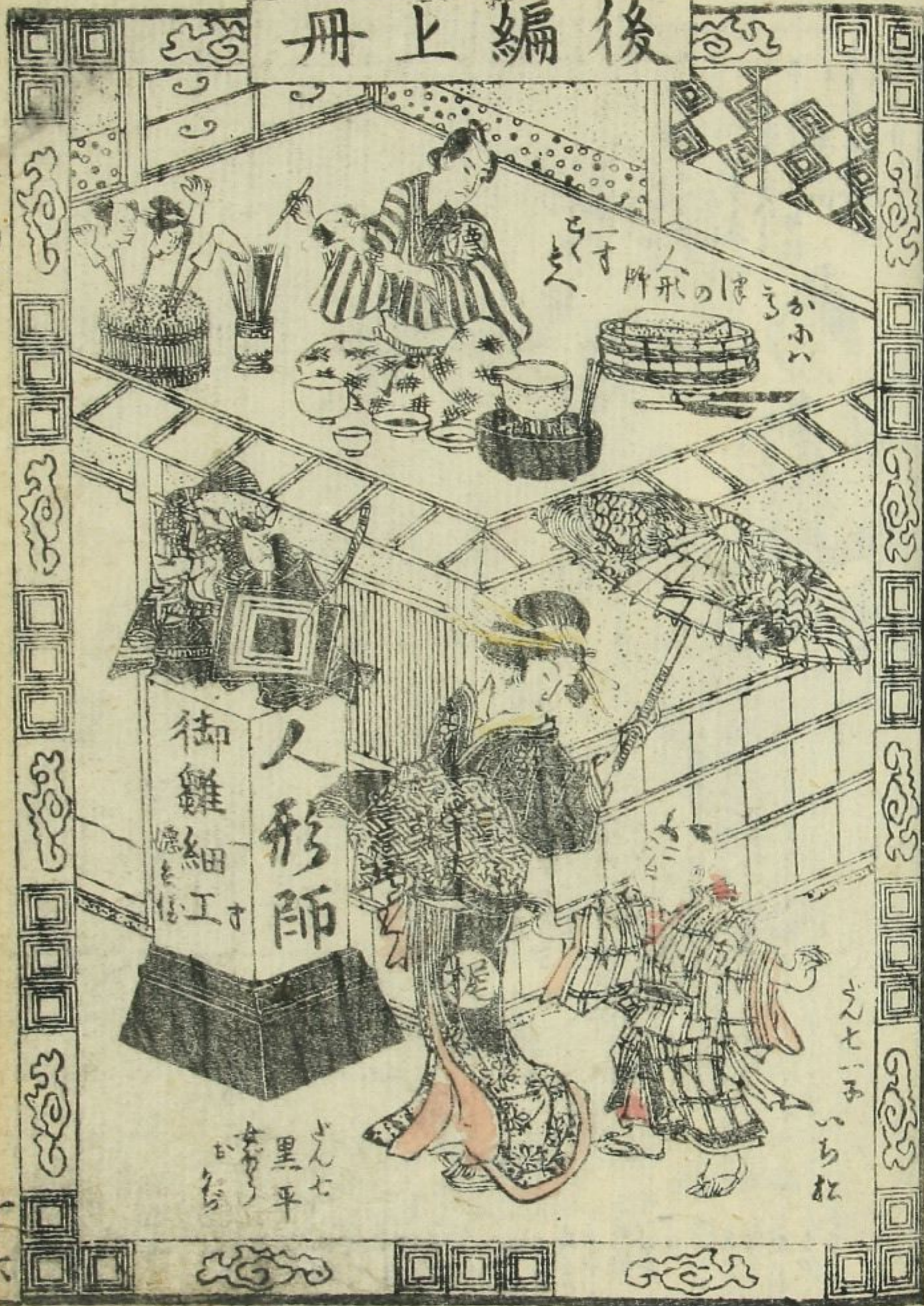
ちよんえんの
 おいさまと
 うけいさまと
 きりきりさまと
 さげのやまさま
 せせせさまと
 さめのかげさま
 すらびさまと
 ちよんえんの
 さげのやま
 さめのかげ
 すらびさま
 ちよんえんの
 さげのやま
 さめのかげ
 すらびさま
 ちよんえんの
 さげのやま
 さめのかげ
 すらびさま

神橋
 州崎



ちよんえんの
 おいさまと
 うけいさまと
 きりきりさまと
 さげのやまさま
 せせせさまと
 さめのかげさま
 すらびさまと
 ちよんえんの
 さげのやま
 さめのかげ
 すらびさま
 ちよんえんの
 さげのやま
 さめのかげ
 すらびさま

後編上冊



御雛細工
人形師

黒平

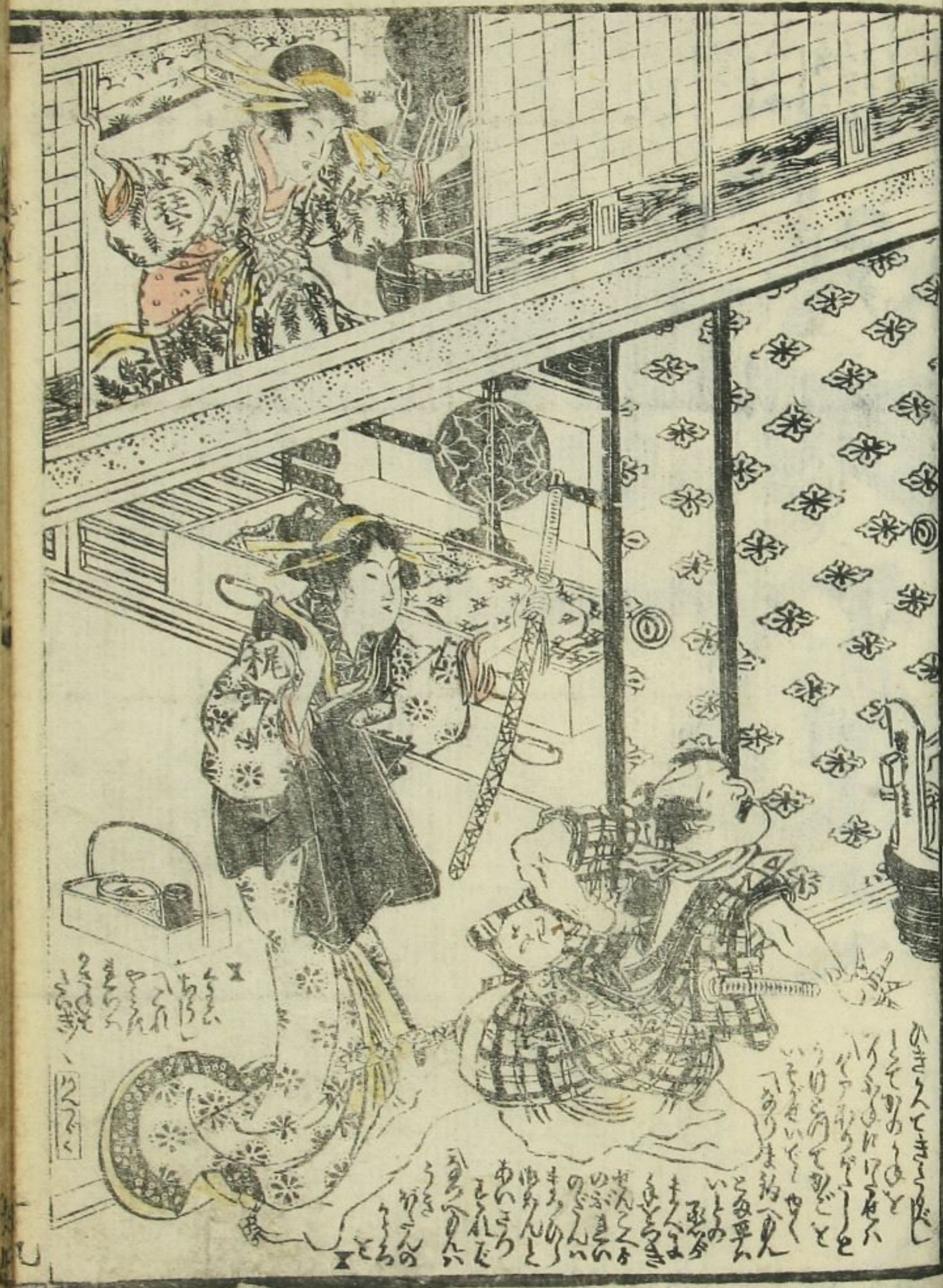
七七一五
はらね

曲豆國画 〇 山東京傳作

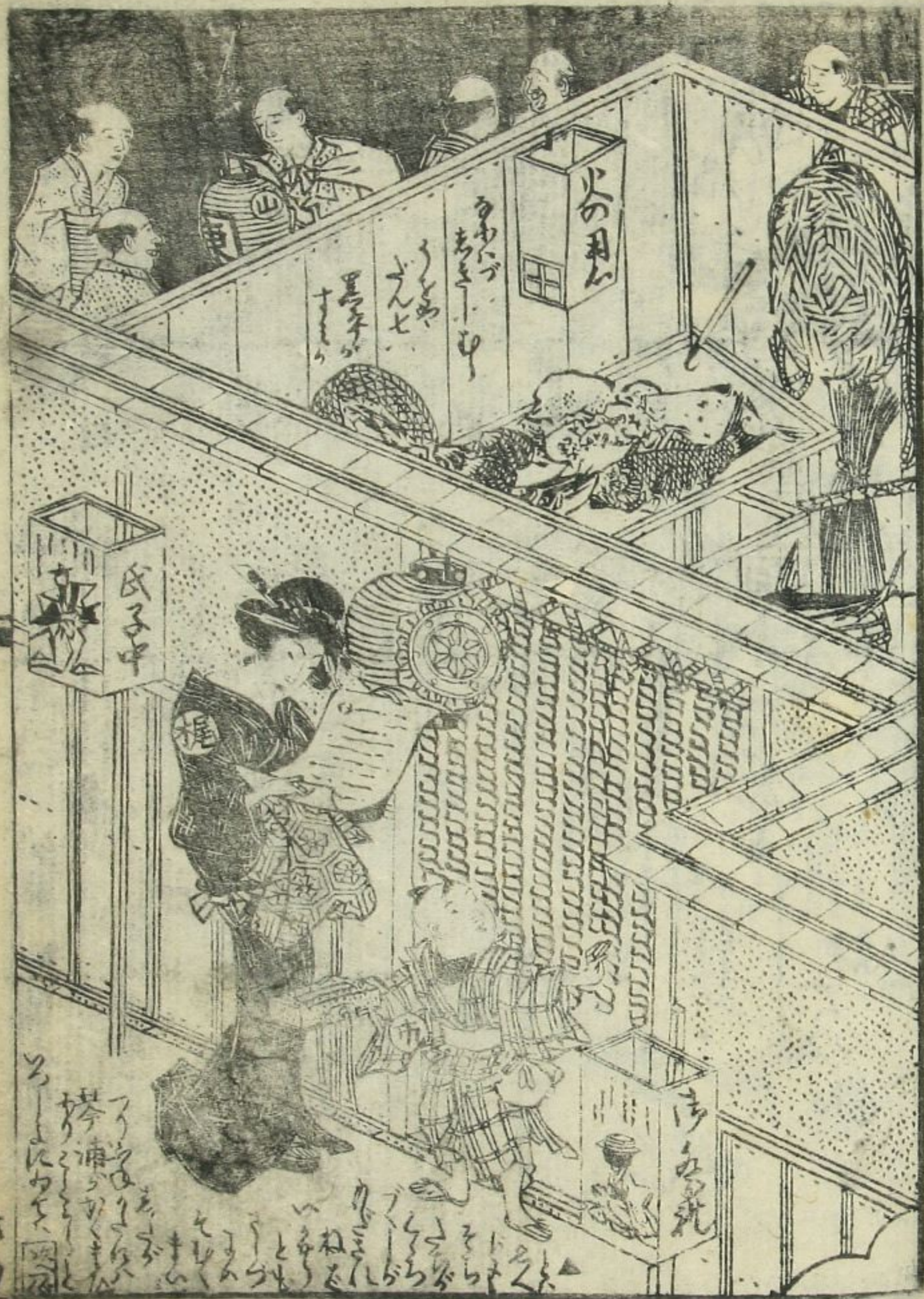


山東京製









火の用心
 氏子中
 火の用心
 氏子中
 火の用心
 氏子中



高津社
 火の用心
 氏子中
 火の用心
 氏子中
 火の用心
 氏子中

九

九三



此の地は...
 昔は...
 今も...
 昔の...
 今...
 昔...
 今...
 昔...
 今...



此の地は...
 昔は...
 今も...
 昔の...
 今...
 昔...
 今...
 昔...
 今...

夫のなき...
祭子...
けり...
つと...
か...
な...
さ...
う...
し...
ひ...
中...
あ...
か...
あ...
あ...
あ...

夫のなき...
祭子...
けり...
つと...
か...
な...
さ...
う...
し...
ひ...
中...
あ...
か...
あ...
あ...
あ...

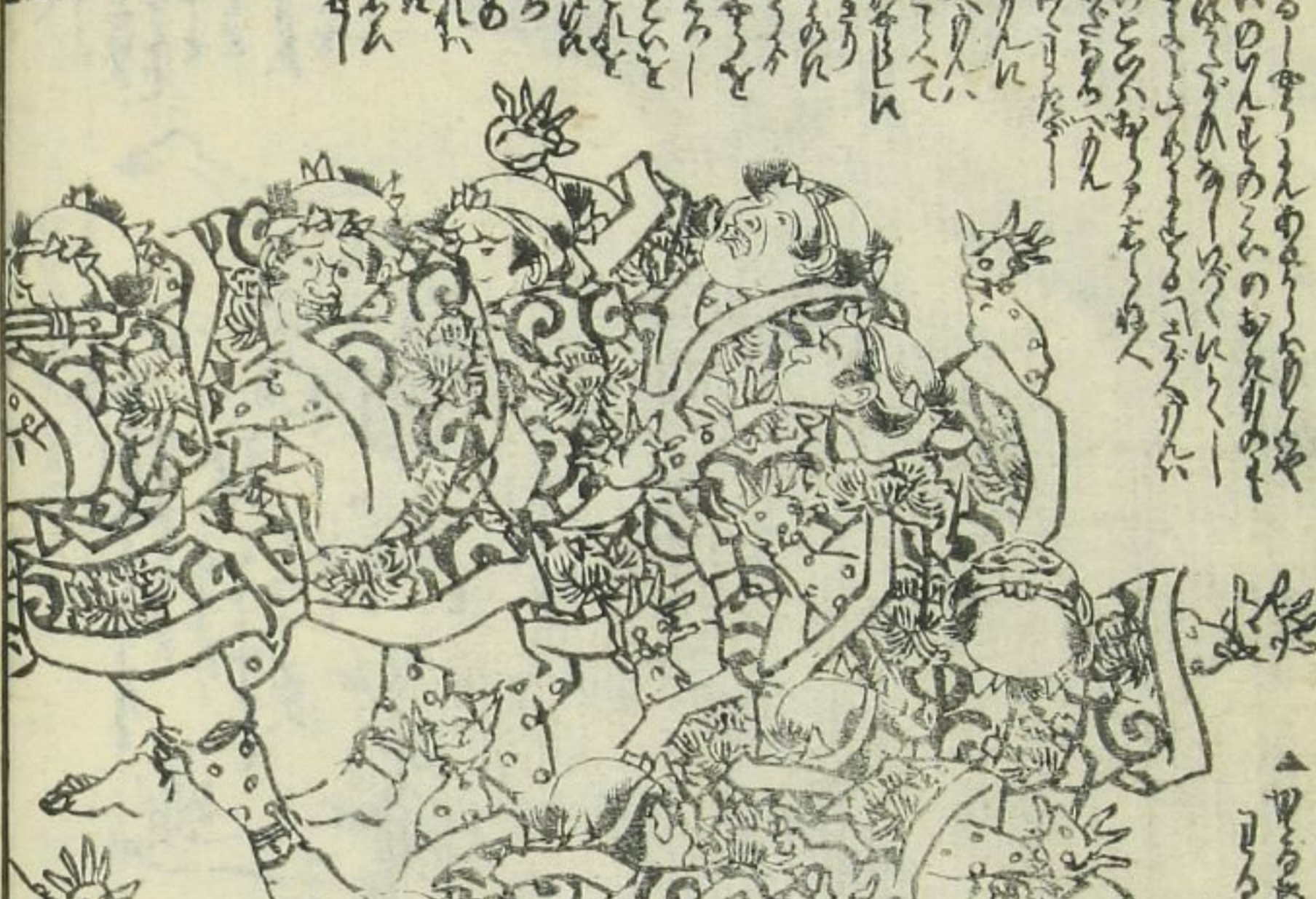


いげんあは
れとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて



カ王のちんを
いげんあは
れとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて

いげんあは
れとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて



いげんあは
れとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて
いげんあ
はれとも
あるまは
るありて

豊國畫

山東京傳作



筆耕 德瓶



尾張東壁堂藏板畧書目

直毘靈

本居先生著

全一冊

此一卷は有が中の中古学の第一小心ゆき大事にして儒佛の道と
といへるふ意味の遠へる事や又皇國の治への正しく
實たる度ども叙述して古事記傳の首卷小合して出さるるを
益多記書をこれ別小一巻とありて著くひらむものなり

三大考

本居先生門人

服部中庸考

全一冊

是は日月と大地との三の始をのちるをふ小部一家の新説を
かせる書ふて古事記日本紀の記文を引く是と述る事奉記傳
十七卷の附卷を成ると別よ求むる人の為一冊とに

消息案文

黒沢翁満先生著 上編 全一冊

世の消息の書多しと云ふも渾要文とのを移へく俗用を毎々を名
とすも六雅文の用と云ふものなり此書中古の雅言と五十字音の
假名とをて類字となしいろは表の例ふるひ雅言と探捷徑を
たふ奉存候の雅言の思ひありと云々惶惶謹言をあるはと云
類い或々年時暑寒の事帖の俗文の下小雅言をてハありと書なく
又ハ調皮の名の雅俗といふてと云々管一ハハ金く初学の便蒙へ

碁經奕範

服部因叔著

全二冊

此碁經ハ局とぶとふうち早とをふ一僅小一偶をあけて中條ハ石
それハ局と盡く變せと云ふ意とりて後學の工夫をめぐらしむ

碁經奕筌

服部因碩著

全二冊

是ハ局中のふ打方の評論とあが五字をみてとくむるそのハ初学の
者此術ハ志とくひとく一ハハ初學をて此筌を志とくものこと云

煎茶早指南

尾磔舎主人作 月樵老人畫

全一冊

此書ハ尾物橋天満宮尾磔舎主人述作中一ハ月樵老
画師の草をとりて賣茶の相の肖像と写し乃その
翁の煎茶の具ふあり一ハ和漢茶のの品と出
茶具の並ね煎茶の法とを備ト同好の人よ使しむ

十躰千字文

両面一枚摺

觀音菩薩垂施無畏之圖 唐紙一牧摺一幅

此圖ハ明人李龍眠の描ける真蹟を模寫し觀音の功德三千三百の應現
彼觀音と念むるの力をよく大坑いらくとまらるる者も忽ち變じて氷水
なり大水の漂ふ所も淺深と減成り惡鬼毒蛇小遇ふも敢て害を更
けど雲雷の室は製めり大雨を降せるも怖れ無く消滅すと云べ
よる此文の意と家守國の周圍の梵字千手の陀羅尼を書きたるもの

草木性譜

舍人清原重巨撰 男 重光校

全三冊

此書ハ山田圃の草木の中奇異なるを撰り澤名方公を委く記し花葉
葉根のいろをもちとやちち葉根の種と考へ諸名家写生の画は着色を如本
州の送海は備へしとのを抄産家の羽翼となす也

天文中星風雨考 両面一牧摺

第一中星の藩を出し次ハ北斗七星の明暗中國家の安危を考へ
万物の吉凶をさくし曆日小しりて其年の善否をしり雲氣を考へて
五穀の豊凶を考へし朔日の油氣を考へて風雨旱魃飢饉の天災を考へ
燈花開謝ははひ人倫の憂喜を考へし又五穀の陰陽を考へし終
一節の中小おのて若干の事物をしりむ重寶とまきしものなり

日用晴雨管窺

全一冊

此晴雨考ハその日くの時節を探出せしり天の象とよきものと非し又
八卦の道理を和辭し或ハ霧霞露霜電を窺て晴雨をしり法雷
虹蜺日月の暈地震ホの事おおしび五穀の豊凶を論するものなり

人相早合点 両面一牧摺

凡人相子の術とも小証ひごき事おしより貴賤貧福壽夭の事
自然小備とせむこと又痣の出所色相より吉凶聖賢の差別とせむ
しこく此書と考へてそらち其理の便覧なるもの自體て如く之し

點竄指南録 坂部先生著 全十五冊

此算法は日用の相場割利と義米積田畑取箇等の諸算法より起て
天元演段諸約簡管招差趕趁角術山理弧背木の深術より起るを
法より起るもの若用小臨く業の業を起る時は法より起て其体系を
探るとは速小本術を起るもの初学の爲小古今の義題を集め類下に
本術を起し別小點竄法より起て其術系と詳し其用法と一めり

易道早合点 両面一牧摺

此早合点は其日の晴雨天災商賣の利潤と六損失乾室の賦ふ成
病人の吉凶得物の有無失物方位傍負の善惡毎月毎日の標
指を易の卦小準へく吉凶を起し是誠小商人早合点の書と

繪本庭訓往来 北齋為一老人画 全三冊

此書は玄惠法印の起るものり傳ふるを今あらしめけ老人の名
事として本文小所在人物を歎草木其外品物より起るを撰き
出せるものなりは本文を解しむる小易く寔小智の
書とせむと州本も歎の名と形とを起しむる三百篇の詩
と學ひて多く事本も歎の名とを起しむるは優きと云べし

繪本女今川

北齋翁画

彩色摺

全一冊

とも〜おまごのそのまびて〜きいふ〜おまごのふら〜
〜し〜と〜これい〜て何〜もわ〜さ〜中〜あ〜ぬ〜と〜み〜さ〜ま〜
〜ご〜あ〜て〜い〜と〜い〜れ〜ら〜り〜さ〜れ〜此書は今川家の
判初はな〜し〜ひ〜く女のと〜ら〜う〜ぶ〜き〜ら〜も〜さ〜つ〜縁〜さ〜ふ
小島の名画を〜さ〜く〜綿摺と〜詞女的心を〜ら〜〜器を〜の〜こ

手紙早引集

両面一牧摺

常〜通用を〜る紙の文を〜ら〜は〜か〜ふ〜て〜手習の〜子〜の
軍手〜と〜す〜る〜早引〜し〜て〜文の簡易を〜進〜め〜る
の間〜ふ〜と〜節用の早引も〜お〜も〜す〜と〜あ〜べ〜

箏曲大意抄

全六冊

右の本は箏曲の紐表裏中免許三曲ホあ〜と〜て〜一〜終〜の曲を〜あ〜く
あ〜る〜箏曲秘事免許の門系後代小あ〜り〜て〜忘〜れ〜さ〜れ〜ん
る為同好のま〜い〜出〜と〜念〜は〜せ〜ら〜古の人も〜お〜も〜す〜と〜あ〜べ〜

物品識名

水谷先生著

全二冊

同拾遺

全二冊

此書は水土金石草木禽獸虫魚等小い〜る〜も〜て〜其和名を國字を
り〜ら〜る〜分類〜し〜て〜水谷先生著と〜す〜る〜書は本草家の用のみ
あ〜ら〜む〜あ〜ら〜ひ〜其異称別名を附載〜し〜て〜文藻の一助と〜ら
れ〜ら〜す〜漢名出づるの書目もあ〜ら〜る〜附記せり

永平道元禪師行狀之圖 画箋紙 一枚摺 二幅

此禪師越前永平寺の開山にして我内大臣の御子法皇九條
 関白基房公の御女なり正治二年二月降誕ありて五才の時唐人
 百鍊の術を讀みひたすして俱舎論を聞しそれより勸学
 せし深く出塵の志をおこし日しては利根ありて生後ハ
 宗より一更実の時村海におわて猛虎は値ひ其ハ
 事共ハ女ふして神童ふあひ南海を涉り多しと風波
 の起るふ恬然として恙ある事由來報最の吉祥山の
 故事 嵯峨帝の朝ふ如くは衣を物ともし辛四
 かく一偈を書し畢り多しと遷化ありて多しと悲
 くわけ画ふ馬なる大幅の掛物なり

目四ノ五

後撰和歌集新抄 別記一冊 全十五冊

け書ハ真淵契仲本居其外諸大人の言説を悉く参攷し
 先人未獲の自考を添へ古実規式をよみ免詞の記
 併てふを併のよみのなるとも悉くときさして本居大平
 翁石系正明先生中の説英考閱を如てあははせるとのこ

延壽養生談 全一冊

け書ハ養生の極秘をよみふかしく奉うかせたりてお
 くれバ女子とていもいもやまきく病長余は故に新救百條
 をあつめこれバ人々平生熟讀むと子孫長久の基なり
 実ハ百條の事をたつらひとていひなり

養生要論

鈴木離屋先生著

全一冊

先生七十歳の頃と自ら養生の道を試みたる世間長壽壯健の人自然と養生の法ありしを遺稿としてその所記あげ又補葉をくび小葉冷あぶらとりて養生せりて其の秘ひ却と癖なりしことを論じて

日用藥品考

溶々齋先生著

全一冊

此書ハ医家日用の藥品草木金石草木其化他物名物及び山野に自採する品中の一葉園小培栽するものも真偽上下をめぐり和漢の有無を訂し茶舗に於て通用するもの種々の名稱印辨を委記載し醫家日用の必要な知識の爲め贈るべし

牧民忠告解

尾張樋口好古先生著

全一冊

此書ハ元の代西臺中丞張希孟と云ふ人勅諭を著しる官人の爲め能く高唐の鄒從吉といふ人崇安といふ所の令となりては書を以ては道を以ては色大分治るといふありて牧民の爲め必可讀と云ふなり

早見萬宝大通考

尾張城南

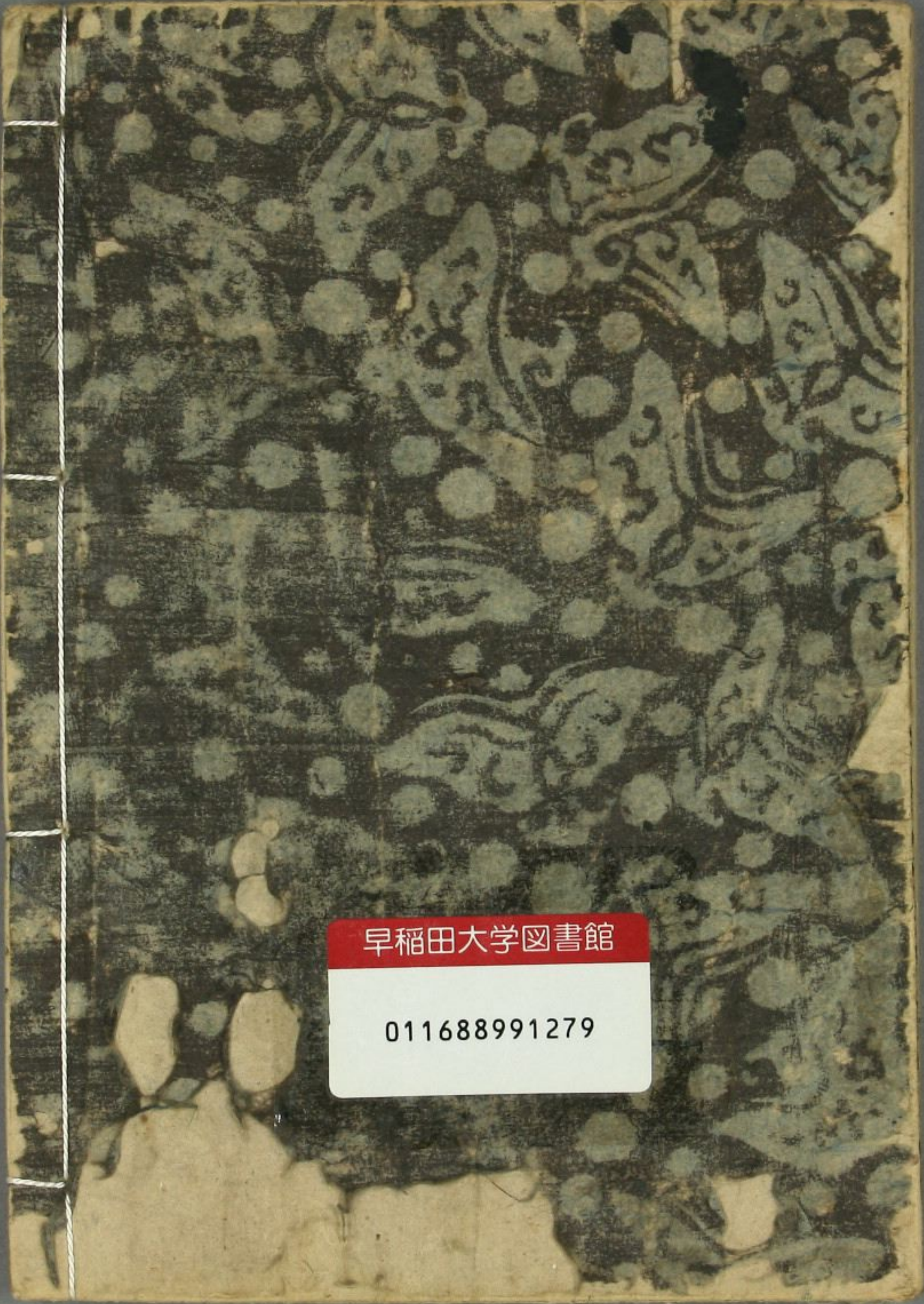
籌山堂撰

全一冊

は中ら相場を割ふを志し掛算の法とこれありてたとひ年令何程亦ても石数代金未をくふあ何やと教ふお場を並右の法を以て重宝かまどバ忽ら何程とあるより不を夜遠は定寔よお其用の秘出なり

書肆

名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎
江戸日本橋通本銀町 同 出 店



早稲田大学図書館

011688991279